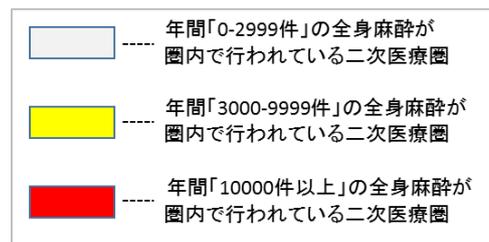
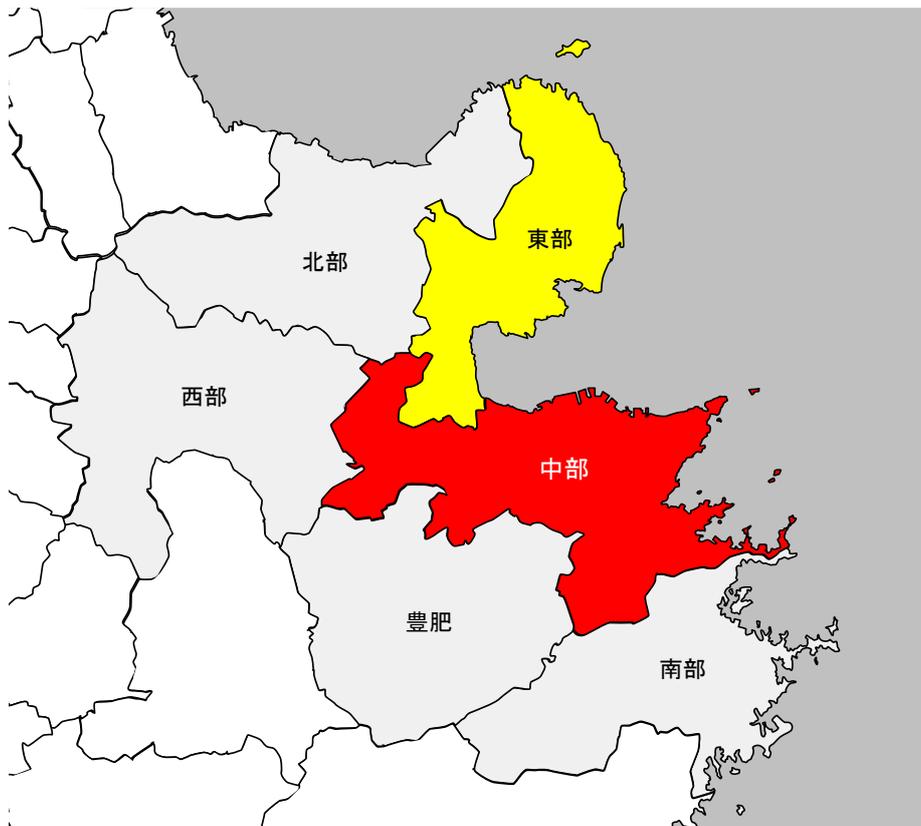


44. 大分県



目次

大分県	44	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	44	-	7
1. 東部医療圏	44	-	19
2. 中部医療圏	44	-	23
3. 南部医療圏	44	-	27
4. 豊肥医療圏	44	-	31
5. 西部医療圏	44	-	35
6. 北部医療圏	44	-	39

44. 大分県

(大分県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大分県は、総人口約1,124千人(2020年)、面積6,341km²、人口密度は177人/km²である。

*人口の将来予測： 大分県の総人口は2030年に1,044千人へと減少し(2020年比-7%)、2045年に897千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の195千人が、2030年にかけて238千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には213千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大分県の一人当たり医療費(国保)は447千円(偏差値67)、介護給付費は276千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大分県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17,395人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が11,261床(偏差値51)、高齢者住宅等が6,134床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14,906人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設53、介護医療院50、有料老人ホーム44、軽費ホーム48、グループホーム49、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、2,792人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

2. 推移

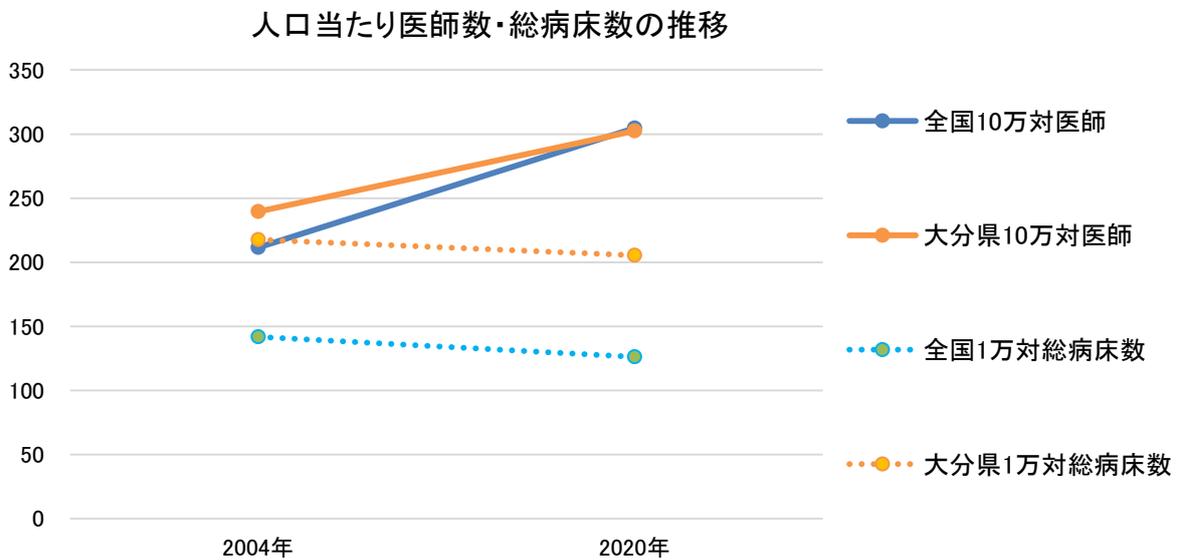
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は165(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2020年に153(人口10万人当たり13.6病院(全国平均6.5)偏差値67)となり、16年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数は971(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2020年に939(人口10万人当たり84診療所(全国平均81)偏差値51)と、32診療所が減少した。

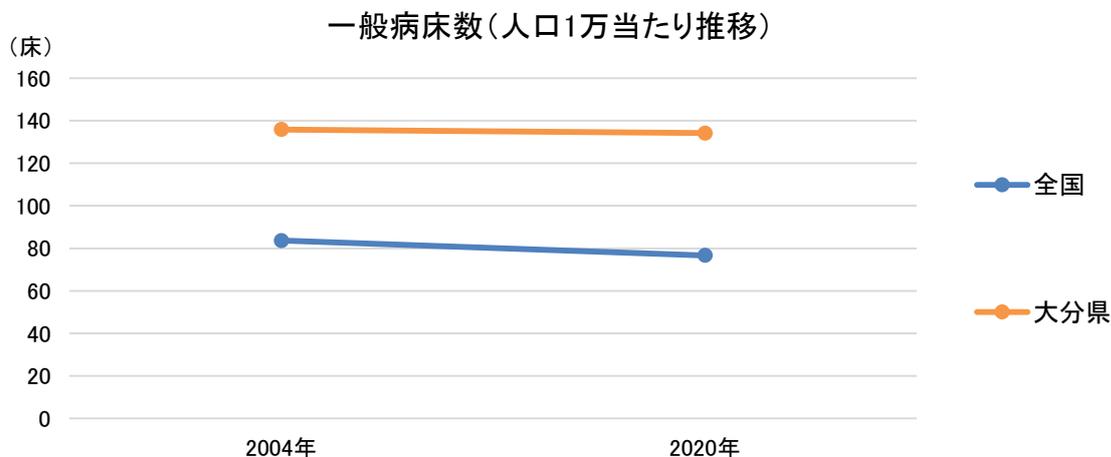
2004年の総病床数は26,328床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2020年に23,090床(人口1万人当たり205(全国平均126)偏差値65)と、3,238床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は2,898人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2020年に3,400人(人口10万人当たり303人(全国平均305人)偏差値50)と、502人の増加、率にして17%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



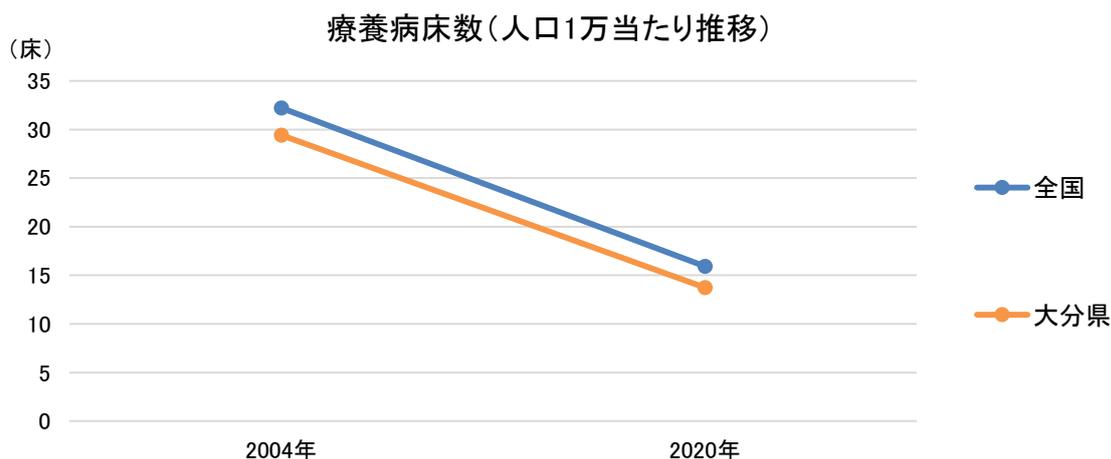
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は16,436床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値69)であったが、2020年に15,079床(人口1万人当たり134(全国平均77)偏差値72)と、1,357床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は4,224床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に2,683床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均16)偏差値48)と、1541床の減少、率にして36%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 44-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
大分県	1,124	34位	6,341	22位	177.2		33%
東部	199	18%	804	13%	247.6	地方都市型	36%
中部	561	50%	1,192	19%	470.2	地方都市型	29%
南部	67	6%	903	14%	74.0	過疎地域型	41%
豊肥	54	5%	1,081	17%	50.0	過疎地域型	46%
西部	86	8%	1,224	19%	69.9	過疎地域型	37%
北部	158	14%	1,137	18%	138.8	過疎地域型	34%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資_図表 44-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
大分県	1,124	1,044	897	195	238	213	-7%	-14%	22%	-11%
東部	199	181	151	39	44	38	-9%	-17%	13%	-14%
中部	561	544	492	82	112	108	-3%	-10%	37%	-4%
南部	67	57	42	15	16	13	-15%	-26%	7%	-19%
豊肥	54	45	33	14	15	11	-17%	-27%	7%	-27%
西部	86	72	53	17	19	16	-16%	-26%	12%	-16%
北部	158	145	126	28	32	28	-8%	-13%	14%	-13%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

資_図表 44-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)	
大分県	447	67	1.150	207	68	1.349	218	61	1.042	276	54	
東部	441	65	1.163	215	71	1.438	204	53	1.005	282	56	
中部	449	67	1.152	199	66	1.298	226	65	1.080	269	52	
南部	433	63	1.083	201	67	1.270	209	55	0.973	267	51	
豊肥	468	71	1.140	214	71	1.319	233	69	1.055	329	70	
西部	447	66	1.141	211	70	1.367	213	58	1.017	271	52	
北部	452	67	1.133	216	71	1.373	213	58	0.995	271	53	
出典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。											

44.大分県(2022年版)

資_図表 44-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費			入院費			入院外十調剤		
	(単位:千円)	偏差値*全国は標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値*全国は標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値*全国は標準偏差	地域差指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
大分県	1,053	59	1.116	605	63	1.249	420	48	0.997
東部	1,077	61	1.142	646	67	1.326	403	44	0.957
中部	1,057	60	1.136	579	60	1.219	447	55	1.065
南部	1,025	57	1.083	619	64	1.267	382	38	0.904
豊肥	1,068	61	1.115	599	62	1.184	448	56	1.074
西部	1,063	60	1.128	654	67	1.336	384	39	0.920
北部	1,009	56	1.068	588	61	1.205	396	42	0.939

出典 <一人あたり後期高齢者医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資_図表 44-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
大分県	153	1.9%	13.6	67	939	0.9%	84	51
東部	34	22%	17.1	75	176	19%	88	54
中部	62	41%	11.1	61	453	48%	81	50
南部	8	5%	12.0	63	57	6%	85	52
豊肥	6	4%	11.1	61	54	6%	100	60
西部	20	13%	23.4	90	71	8%	83	51
北部	23	15%	14.6	69	128	14%	81	50

出典 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月

資_図表 44-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
大分県	939	0.9%	84	51	715	0.7%	64	43	224	3.6%	19.9	76
東部	176	19%	88	54	131	18%	66	45	45	20%	22.6	81
中部	453	48%	81	50	344	48%	61	42	109	49%	19.4	76
南部	57	6%	85	52	47	7%	70	47	10	4%	15.0	68
豊肥	54	6%	100	60	42	6%	78	51	12	5%	22.2	80
西部	71	8%	83	51	52	7%	61	42	19	8%	22.2	80
北部	128	14%	81	50	99	14%	63	43	29	13%	18.4	74

出典 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月

資_図表 44-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
大分県	19,633	1.3%	1,747	61	3,457	4.0%	308	77	23,090	1.4%	2,055	65
東部	4,505	23%	2,264	72	707	20%	355	83	5,212	23%	2,619	75
中部	9,013	46%	1,608	58	1,660	48%	296	76	10,673	46%	1,904	62
南部	1,172	6%	1,753	61	139	4%	208	66	1,311	6%	1,961	63
豊肥	873	4%	1,616	59	211	6%	391	87	1,084	5%	2,006	64
西部	1,571	8%	1,836	63	282	8%	330	80	1,853	8%	2,165	67
北部	2,499	13%	1,584	58	458	13%	290	75	2,957	13%	1,875	61
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 44-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
大分県	11,831	1.3%	1,053	65	2,474	0.9%	220	50	5,238	1.6%	466	59
東部	2,910	25%	1,462	83	687	28%	345	56	850	16%	427	58
中部	5,472	46%	976	62	680	27%	121	44	2,845	54%	507	61
南部	721	6%	1,079	66	267	11%	399	59	180	3%	269	51
豊肥	500	4%	925	60	157	6%	291	53	212	4%	392	56
西部	759	6%	887	58	241	10%	282	53	567	11%	663	68
北部	1,469	12%	931	60	442	18%	280	53	584	11%	370	55
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 44-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69	(53)	74,859		59	(78)
大分県	1,323	1.5%	118	59	2,252	3.0%	200	68
東部	341	26%	171	69	518	23%	260	76
中部	562	42%	100	56	818	36%	146	61
南部	125	9%	187	72	201	9%	301	81
豊肥	60	5%	111	58	132	6%	244	74
西部	119	9%	139	63	287	13%	335	86
北部	116	9%	74	51	296	13%	188	67
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

44.大分県(2022年版)

資_図表 44-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
大分県	4,799	4,464	147	14,810	7,383	2,251	37.7%	47	6.1%	50
東部	1,885	1,731	56	2,646	1,194	642	59.2%	56	8.0%	51
中部	2,071	1,941	52	6,988	3,601	568	35.0%	46	8.4%	51
南部	195	191	0	972	508	284	27.3%	43	0.0%	48
豊肥	199	156	39	628	344	72	31.2%	45	35.1%	63
西部	199	195	0	1,369	561	241	25.8%	43	0.0%	48
北部	250	250	0	2,207	1,175	444	17.5%	40	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県／市区町村／日本赤十字社／済生会／独立行政法人地域医療機能推進機構／地方独立行政法人／独立行政法人国立病院機構／国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これ以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

資_図表 44-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,315,172		1,835	(812)	839,196		665	(271)
大分県	22,192	1.0%	1,975	52	7,032	0.8%	626	49
東部	4,336	20%	2,179	54	1,032	15%	519	45
中部	13,693	62%	2,442	57	3,348	48%	597	47
南部	708	3%	1,059	40	336	5%	503	44
豊肥	279	1%	516	34	168	2%	311	37
西部	830	4%	970	39	744	11%	869	58
北部	2,346	11%	1,487	46	1,404	20%	890	58
出典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資_図表 44-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	384,332		305	(99)	243,064		193	(76)	141,268		112	(34)
大分県	3,400	0.9%	303	50	2,190	0.9%	195	50	1,210	0.9%	108	49
東部	530	16%	266	46	337	15%	169	47	194	16%	97	46
中部	1,909	56%	340	54	1,271	58%	227	54	638	53%	114	51
南部	178	5%	266	46	111	5%	166	47	67	6%	100	47
豊肥	141	4%	260	46	76	3%	141	43	64	5%	119	52
西部	228	7%	267	46	144	7%	169	47	84	7%	98	46
北部	413	12%	262	46	250	11%	159	46	163	13%	104	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 44-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
大分県	306	0.9%	27.2	51	124	0.9%	11.0	50	95	0.8%	8.5	48
東部	68	22%	34.2	56	23	19%	11.6	51	10	11%	5.0	40
中部	174	57%	31.0	54	76	61%	13.6	55	64	67%	11.4	55
南部	12	4%	18.0	43	5	4%	7.5	42	4	4%	6.0	42
豊肥	19	6%	35.2	57	3	2%	5.6	38	2	2%	3.7	37
西部	7	2%	8.2	35	5	4%	5.8	39	7	7%	8.2	48
北部	26	8%	16.5	42	12	10%	7.6	43	8	8%	5.1	40
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 44-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
大分県	51	0.9%	4.5	49	74	0.8%	6.6	46	53	0.7%	4.7	45
東部	7	14%	3.5	45	14	19%	7.0	48	8	15%	4.0	43
中部	33	65%	5.9	55	43	58%	7.7	50	33	62%	5.9	50
南部	1	2%	1.5	36	5	7%	7.5	49	1	2%	1.5	33
豊肥	2	4%	3.7	46	3	4%	5.6	43	2	4%	3.7	41
西部	1	2%	1.2	35	4	5%	4.7	40	3	6%	3.5	41
北部	7	14%	4.4	49	5	7%	3.2	35	6	11%	3.8	42
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 44-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
大分県	105	1.1%	9.3	54	253	1.1%	22.5	57	183	1.0%	16.3	55
東部	20	19%	10.1	56	55	22%	27.6	64	39	21%	19.6	62
中部	63	60%	11.2	59	134	53%	23.9	59	95	52%	16.9	56
南部	0	0%	0	28	9	4%	13.5	44	14	8%	20.9	64
豊肥	5	5%	9.3	54	10	4%	18.5	51	8	4%	14.8	52
西部	7	7%	8.2	51	18	7%	21.0	55	11	6%	12.9	48
北部	10	10%	6.3	46	27	11%	17.1	49	16	9%	10.1	42
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

44.大分県(2022年版)

資_図表 44-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	6,279		5.0	(2.2)	7,149		5.7	(2.5)	6,391		5.1	(3.3)
大分県	71	1.1%	6.3	56	79	1.1%	7.0	55	67	1.0%	6.0	53
東部	13	18%	6.5	57	13	16%	6.5	53	18	27%	9.0	62
中部	40	56%	7.1	60	44	56%	7.8	59	33	49%	5.9	52
南部	6	8%	9.0	68	4	5%	6.0	51	6	9%	9.0	62
豊肥	1	1%	1.9	36	2	3%	3.7	42	1	1%	1.9	40
西部	2	3%	2.3	38	8	10%	9.3	65	2	3%	2.3	42
北部	9	13%	5.7	53	8	10%	5.1	48	7	10%	4.4	48
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 44-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	7,997		6.3	(3.5)	1,820		1.4	(1.0)	4,704		3.7	(2.3)
大分県	79	1.0%	7.0	52	17	0.9%	1.5	51	42	0.9%	3.7	50
東部	15	19%	7.5	53	4	24%	2.0	56	7	17%	3.5	49
中部	52	66%	9.3	58	11	65%	2.0	55	29	69%	5.2	56
南部	2	3%	3.0	40	0	0%	0	36	0	0%	0	34
豊肥	1	1%	1.9	37	0	0%	0	36	1	2%	1.9	42
西部	5	6%	5.8	49	0	0%	0	36	3	7%	3.5	49
北部	4	5%	2.5	39	2	12%	1.3	48	2	5%	1.3	39
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 44-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数				リハビリテ ーション科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	2,377		1.9	(1.4)	2,868		2.3	(1.6)
大分県	24	1.0%	2.1	52	34	1.2%	3.0	55
東部	5	21%	2.5	54	8	24%	4.0	61
中部	17	71%	3.0	58	24	71%	4.3	62
南部	0	0%	0	37	1	3%	1.5	45
豊肥	1	4%	1.9	50	0	0%	0	36
西部	1	4%	1.2	45	1	3%	1.2	43
北部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資_図表 44-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
大分県	13,728	1.2%	1,221	60	10,725	1.2%	954	60	3,003	1.2%	267	60
東部	2,374	17%	1,193	59	1,918	18%	964	60	457	15%	229	55
中部	6,801	50%	1,213	60	5,260	49%	938	59	1,541	51%	275	61
南部	833	6%	1,245	61	696	6%	1,042	63	136	5%	204	51
豊肥	623	5%	1,154	58	445	4%	823	54	179	6%	331	68
西部	1,127	8%	1,317	64	882	8%	1,031	63	245	8%	287	62
北部	1,970	14%	1,249	61	1,525	14%	967	60	445	15%	282	62
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 44-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
大分県	2,270	1.5%	202	63	2,317	0.7%	206	45
東部	402	18%	202	63	423	18%	213	46
中部	1,028	45%	183	60	1,239	53%	221	47
南部	162	7%	242	70	135	6%	202	45
豊肥	149	7%	275	75	92	4%	170	41
西部	244	11%	285	77	143	6%	167	41
北部	287	13%	182	60	285	12%	181	42
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資_図表 44-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
大分県	196	1.3%	1.0	54	34	2.0%	0.2	61	183	1.3%	0.9	57
東部	35	18%	0.9	52	6	18%	0.2	58	42	23%	1.1	62
中部	116	59%	1.4	65	16	47%	0.2	64	82	45%	1.0	60
南部	9	5%	0.6	44	2	6%	0.1	55	10	5%	0.7	46
豊肥	16	8%	1.1	57	2	6%	0.1	56	10	5%	0.7	48
西部	6	3%	0.4	38	5	15%	0.3	77	13	7%	0.8	50
北部	14	7%	0.5	42	3	9%	0.1	52	26	14%	0.9	56
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

44.大分県(2022年版)

資_図表 44-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
大分県	17,395	1.0%	89	45	11,261	1.1%	58	51	6,134	0.8%	31	43
東部	4,363	25%	111	59	2,782	25%	71	61	1,581	26%	40	49
中部	6,406	37%	78	38	3,993	35%	49	45	2,413	39%	30	41
南部	1,314	8%	87	44	758	7%	50	46	556	9%	37	47
豊肥	1,290	7%	90	45	1,036	9%	72	62	254	4%	18	33
西部	1,393	8%	82	40	996	9%	59	52	397	6%	23	37
北部	2,629	15%	93	48	1,696	15%	60	53	933	15%	33	44
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 44-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数				介護医療院定員数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
大分県	4,861	1.3%	25	58	5,552	0.9%	28	46	417	1.7%	2.1	53	431	1.1%	2.2	50
東部	1,002	21%	25	59	1,221	22%	31	48	252	60%	6.4	69	307	71%	7.8	66
中部	1,890	39%	23	56	2,046	37%	25	43	39	9%	0.5	47	18	4%	0.2	45
南部	358	7%	24	57	400	7%	27	44	0	0%	0	45	0	0%	0	44
豊肥	491	10%	34	73	484	9%	34	51	15	4%	1.0	49	46	11%	3.2	53
西部	411	8%	24	57	555	10%	33	50	30	7%	1.8	52	0	0%	0	44
北部	709	15%	25	59	846	15%	30	47	81	19%	2.9	56	60	14%	2.1	50
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資_図表 44-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
大分県	1,655	0.6%	8.5	44	170	0.7%	0.9	48	2,103	1.0%	10.8	49
東部	578	35%	14.7	51	150	88%	3.8	62	342	16%	8.7	45
中部	500	30%	6.1	42	20	12%	0.2	45	871	41%	10.7	49
南部	135	8%	9.0	45	0	0%	0	44	234	11%	15.6	57
豊肥	48	3%	3.4	39	0	0%	0	44	185	9%	12.9	53
西部	155	9%	9.1	45	0	0%	0	44	144	7%	8.5	45
北部	239	14%	8.5	44	0	0%	0	44	327	16%	11.6	50
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(特定施設)			サ高住(非特定施設)							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108	1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)	
大分県	2,206	0.8%	11.3	45	78	0.2%	0.4	43	2,128	0.9%	10.9	47
東部	511	23%	13.0	47	78	100%	2.0	51	433	20%	11.0	47
中部	1,022	46%	12.5	47	0	0%	0	41	1,022	48%	12.5	49
南部	187	8%	12.4	47	0	0%	0	41	187	9%	12.4	49
豊肥	21	1%	1.5	31	0	0%	0	41	21	1%	1.5	33
西部	98	4%	5.8	37	0	0%	0	41	98	5%	5.8	39
北部	367	17%	13.0	48	0	0%	0	41	367	17%	13.0	50
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 44-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	介護施設			訪問看護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762	6.4	(2.1)	68,873	3.7	(1.3)		
大分県	2,256	1.2%	11.5	56	1,481	1.2%	7.6	56	775	1.1%	4.0	52
東部	520	23%	13.2	63	343	23%	8.7	61	177	23%	4.5	56
中部	944	42%	11.6	56	541	37%	6.6	51	403	52%	4.9	59
南部	140	6%	9.3	46	102	7%	6.8	52	38	5%	2.5	41
豊肥	183	8%	12.8	61	143	10%	10.0	67	40	5%	2.8	43
西部	170	8%	10.0	49	133	9%	7.8	57	37	5%	2.2	38
北部	299	13%	10.6	52	219	15%	7.8	56	80	10%	2.8	43
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	介護施設等			在宅介護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531	71	(12.4)	229,090	12.3	(5.1)		
大分県	17,697	1.1%	91	55	14,906	1.1%	76	54	2,792	1.2%	14.3	54
東部	3,465	20%	88	54	2,999	20%	76	54	466	17%	11.9	49
中部	7,376	42%	90	55	6,098	41%	75	53	1,279	46%	15.7	57
南部	1,392	8%	93	57	1,099	7%	73	51	293	11%	19.5	64
豊肥	1,320	7%	92	57	1,165	8%	81	58	155	6%	10.8	47
西部	1,632	9%	96	60	1,409	9%	83	59	223	8%	13.2	52
北部	2,511	14%	89	54	2,136	14%	76	54	375	13%	13.3	52
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

44.大分県(2022年版)

資_図表 44-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
大分県	16,961	1.1%	87	52	5,407	0.8%	28	44	14,172	1.2%	73	55
東部	4,110	24%	105	57	1,104	20%	28	44	2,174	15%	55	47
中部	9,201	54%	113	59	2,594	48%	32	47	5,615	40%	69	53
南部	692	4%	46	41	327	6%	22	40	2,746	19%	183	103
豊肥	828	5%	58	44	367	7%	26	42	834	6%	58	48
西部	617	4%	36	38	319	6%	19	37	819	6%	48	44
北部	1,513	9%	54	43	696	13%	25	42	1,984	14%	70	54
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが大分県医療圏別に集計したもの							

資_図表 44-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
大分県	165	13.6	67	153	13.6	67	-12	-7%
東部	37	16.5	74	34	17.1	75	-3	-8%
中部	65	11.6	62	62	11.1	61	-3	-5%
南部	9	11.2	61	8	12.0	63	-1	-11%
豊肥	9	13.2	66	6	11.1	61	-3	-33%
西部	21	20.3	84	20	23.4	90	-1	-5%
北部	24	14.1	68	23	14.6	69	-1	-4%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 44-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
大分県	971	80	52	939	84	51	-32	-3%
東部	199	89	56	176	88	54	-23	-12%
中部	430	76	50	453	81	50	23	5%
南部	63	78	51	57	85	52	-6	-10%
豊肥	58	85	55	54	100	60	-4	-7%
西部	79	76	50	71	83	51	-8	-10%
北部	142	83	54	128	81	50	-14	-10%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 44-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
大分県	2,898	240	53	3,400	303	50	502	17%
東部	618	275	58	530	266	46	-88	-14%
中部	1,523	271	57	1,909	340	54	386	25%
南部	150	187	47	178	266	46	28	19%
豊肥	128	188	47	141	260	46	13	10%
西部	151	146	42	228	267	46	77	51%
北部	328	193	48	413	262	46	85	26%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 44-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
大分県	26,328	218	64	23,090	205	65	-3,238	-12%
東部	6,512	290	77	5,212	262	75	-1,300	-20%
中部	11,646	207	62	10,673	190	62	-973	-8%
南部	1,518	189	58	1,311	196	63	-207	-14%
豊肥	1,233	181	57	1,084	201	64	-149	-12%
西部	2,069	200	60	1,853	217	67	-216	-10%
北部	3,350	197	60	2,957	187	61	-393	-12%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 44-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
大分県	16,436	136	69	15,079	134	72	-1,357	-8%
東部	3,878	172	82	3,559	179	89	-319	-8%
中部	7,417	132	67	7,067	126	69	-350	-5%
南部	1,029	128	66	860	129	70	-169	-16%
豊肥	787	116	61	692	128	69	-95	-12%
西部	1,235	119	63	1,017	119	66	-218	-18%
北部	2,090	123	64	1,884	119	66	-206	-10%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

44.大分県(2022年版)

資_図表 44-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差 (18)	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差 (9)	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
大分県	4,224	29	48	2,683	14	48	-1,541	-36%
東部	1,421	47	59	745	19	53	-676	-48%
中部	1,368	27	47	745	9	43	-623	-46%
南部	261	23	45	267	18	52	6	2%
豊肥	230	17	42	176	12	46	-54	-23%
西部	263	18	42	265	16	50	2	1%
北部	681	29	48	485	17	51	-196	-29%
出典	<療養病床数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年> 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

44-1. ^{と う ぶ} 東部医療圏

構成市区町村 [別府市](#) [杵築市](#) [国東市](#) [姫島村](#)
[日出町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(別府市)は、総人口約199千人(2020年)、面積804km²、人口密度は248人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は2030年に181千人へと減少し(2020年比-9%)、2045年に151千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の39千人が、2030年にかけて44千人へと増加し(2020年比+13%)、2045年には38千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は441千円(偏差値65)、介護給付費は282千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は83で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。東部には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNH0別府医療センター(標準群)、500例以上の厚生連鶴見病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,363人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,782床(偏差値61)、高齢者住宅等が1,581床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,999人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設69、介護医療院66、有料老人ホーム51、軽費ホーム62、グループホーム45、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、466人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(東部医療圏) 2. 推移

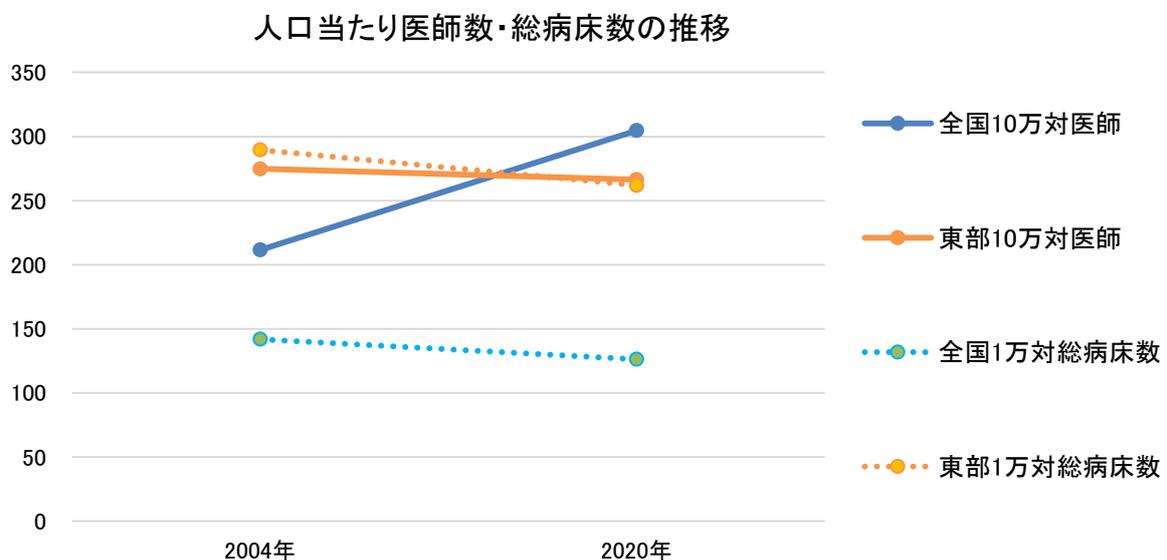
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は37(人口10万人当たり16.5病院(全国平均7.1)偏差値74)であったが、2020年に34(人口10万人当たり17.1病院(全国平均6.5)偏差値75)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は199(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2020年に176(人口10万人当たり88診療所(全国平均81)偏差値54)と、23診療所が減少した。

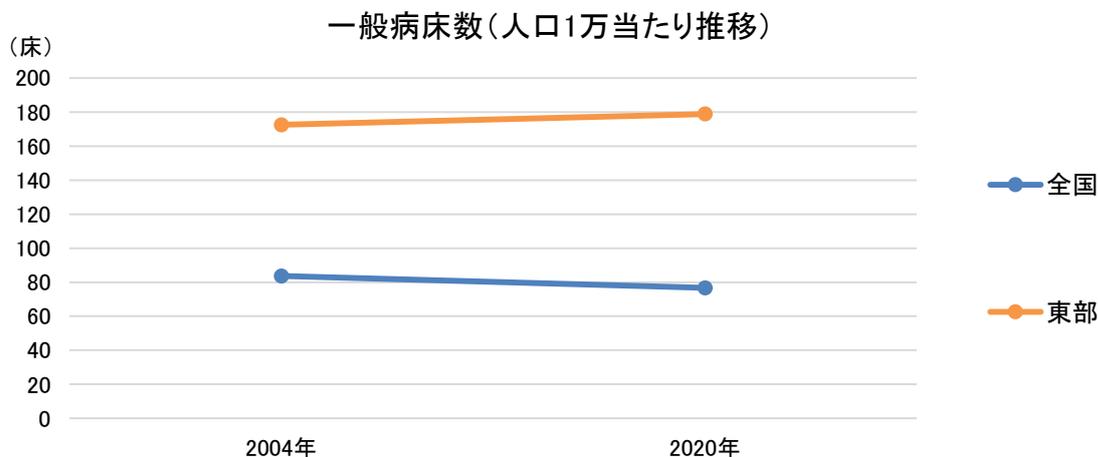
2004年の総病床数は6,512床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値77)であったが、2020年に5,212床(人口1万人当たり262(全国平均126)偏差値75)と、1,300床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は618人(人口10万人当たり275人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2020年に530人(人口10万人当たり266人(全国平均305人)偏差値46)と、88人の減少、率にして14%の減少(全国平均42%の増加)が見られた。



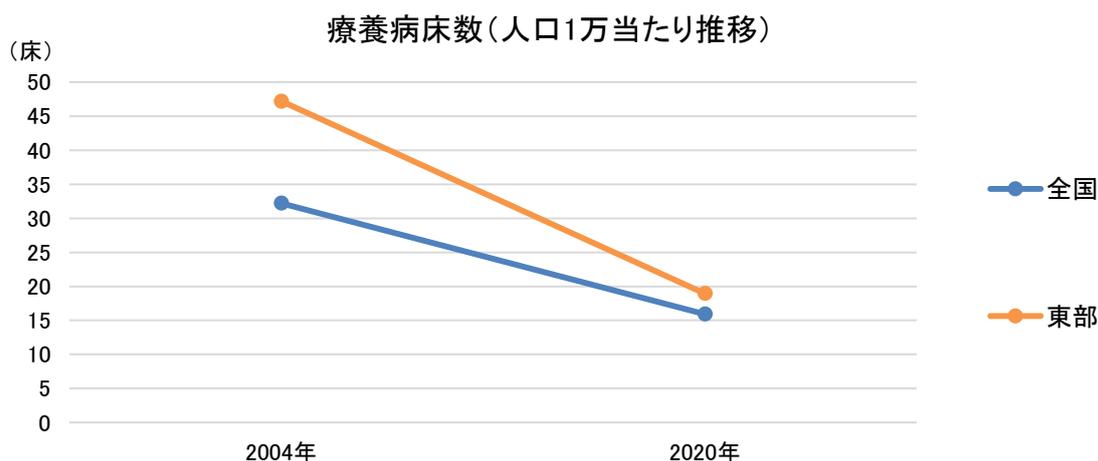
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は3,878床(人口1万人当たり172(全国平均84)偏差値82)であったが、2020年に3,559床(人口1万人当たり179(全国平均77)偏差値89)と、319床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,421床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2020年に745床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均16)偏差値53)と、676床の減少、率にして48%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



44-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村

[大分市](#)

[臼杵市](#)

[津久見市](#)

[由布市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(大分市)は、総人口約561千人(2020年)、面積1,192km²、人口密度は470人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2030年に544千人へと減少し(2020年比-3%)、2045年に492千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の82千人が、2030年にかけて112千人へと増加し(2020年比+37%)、2045年には108千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は449千円(偏差値67)、介護給付費は269千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数54、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大分県立病院(標準群・救命)、大分大学医学部附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上のアルメイダ病院(標準群・救命)、500例以上の大分赤十字病院(標準群)、大分岡病院(標準群)、大分中村病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 療養士総数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,406人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,993床(偏差値45)、高齢者住宅等が2,413床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,098人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設47、介護医療院45、有料老人ホーム42、軽費ホーム45、グループホーム49、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,279人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

(中部医療圏) 2. 推移

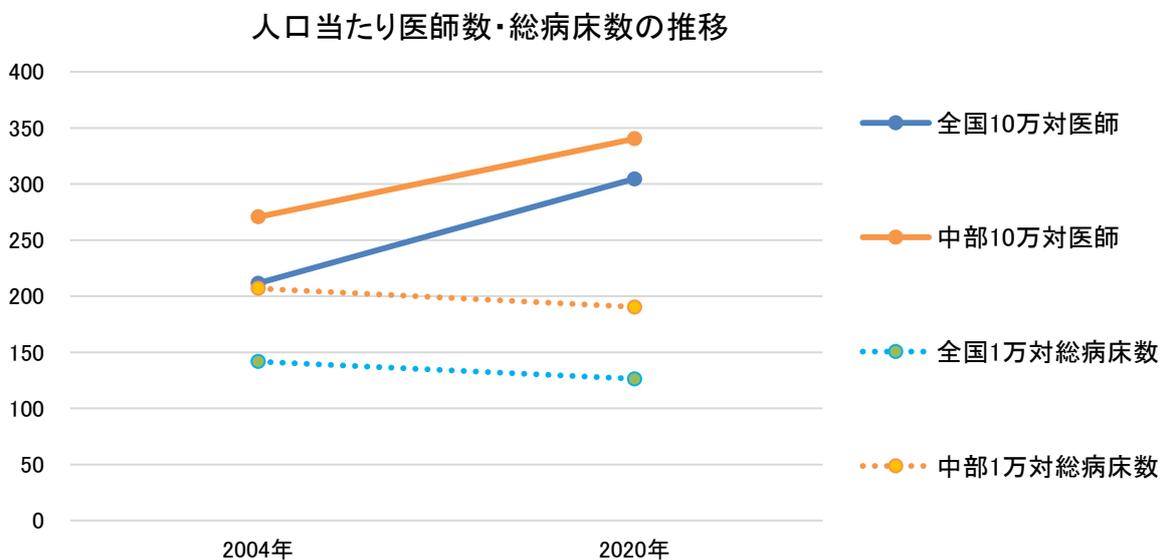
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は65(人口10万人当たり11.6病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2020年に62(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.5)偏差値61)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は430(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2020年に453(人口10万人当たり81診療所(全国平均81)偏差値50)と、23診療所が増加した。

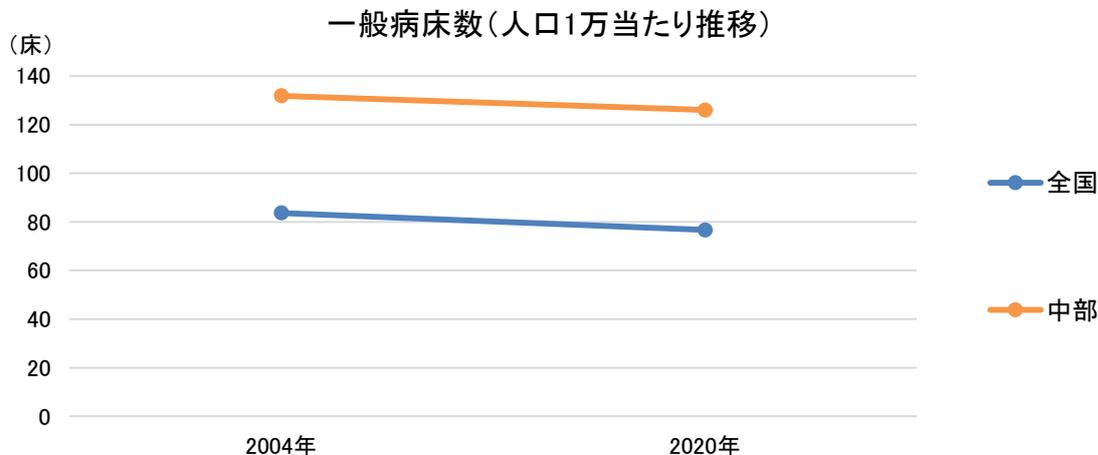
2004年の総病床数は11,646床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2020年に10,673床(人口1万人当たり190(全国平均126)偏差値62)と、973床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,523人(人口10万人当たり271人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2020年に1,909人(人口10万人当たり340人(全国平均305人)偏差値54)と、386人の増加、率にして25%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



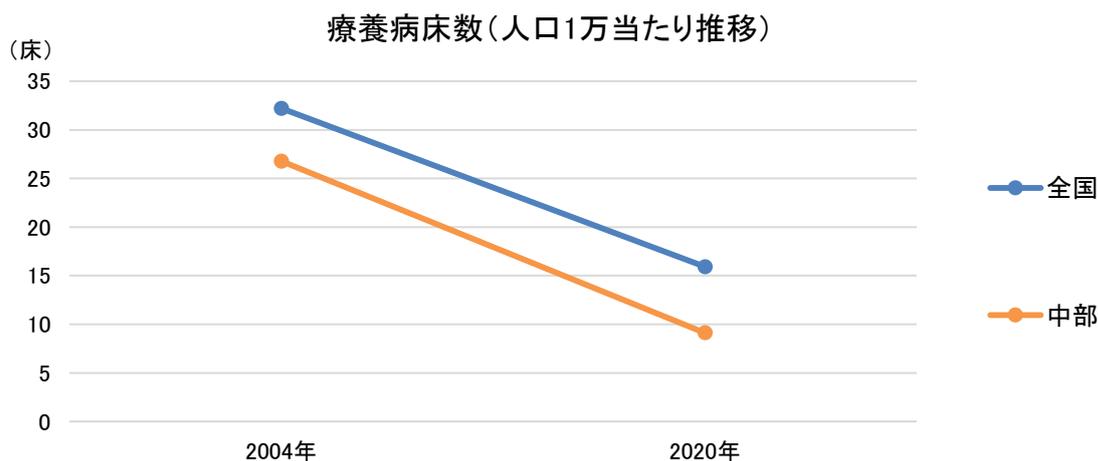
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は7,417床(人口1万人当たり132(全国平均84)偏差値67)であったが、2020年に7,067床(人口1万人当たり126(全国平均77)偏差値69)と、350床の減少、率にして5%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,368床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2020年に745床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均16)偏差値43)と、623床の減少、率にして46%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



44-3. ^{なんぶ}南部医療圏

構成市区町村 [佐伯市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(佐伯市)は、総人口約67千人(2020年)、面積903km²、人口密度は74人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2030年に57千人へと減少し(2020年比-15%)、2045年に42千人へと減少する(2030年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の15千人が、2030年にかけて16千人へと増加し(2020年比+7%)、2045年には13千人へと減少する(2030年比-26%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は433千円(偏差値63)、介護給付費は267千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値70と非常に多く、回復期病床数は偏差値72と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,314人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が758床(偏差値46)、高齢者住宅等が556床(偏差値47)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,099人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム57、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、293人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

(南部医療圏) 2. 推移

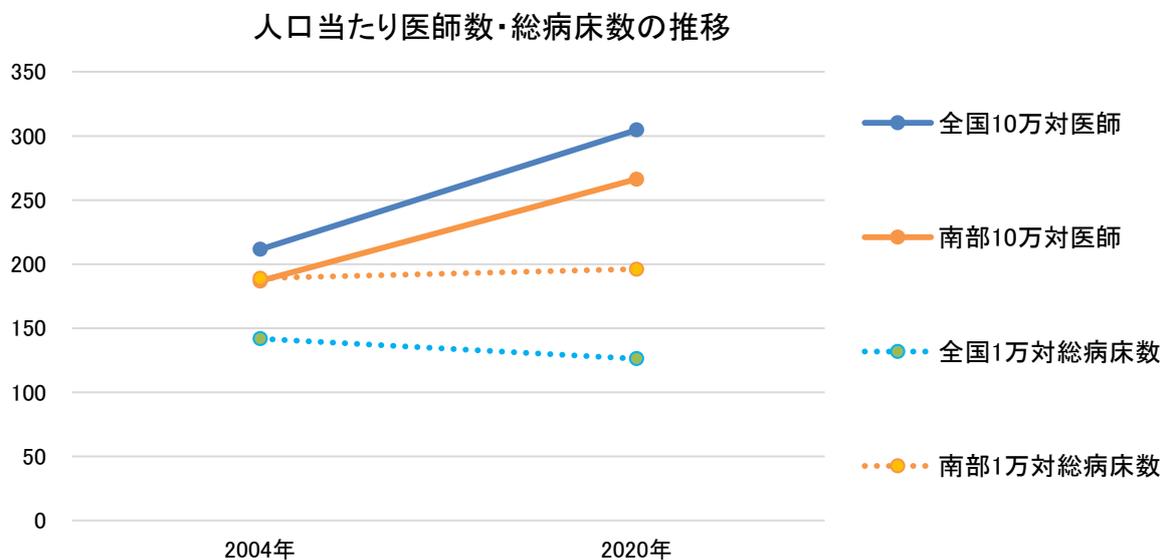
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は9(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2020年に8(人口10万人当たり12病院(全国平均6.5)偏差値63)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は63(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2020年に57(人口10万人当たり85診療所(全国平均81)偏差値52)と、6診療所が減少した。

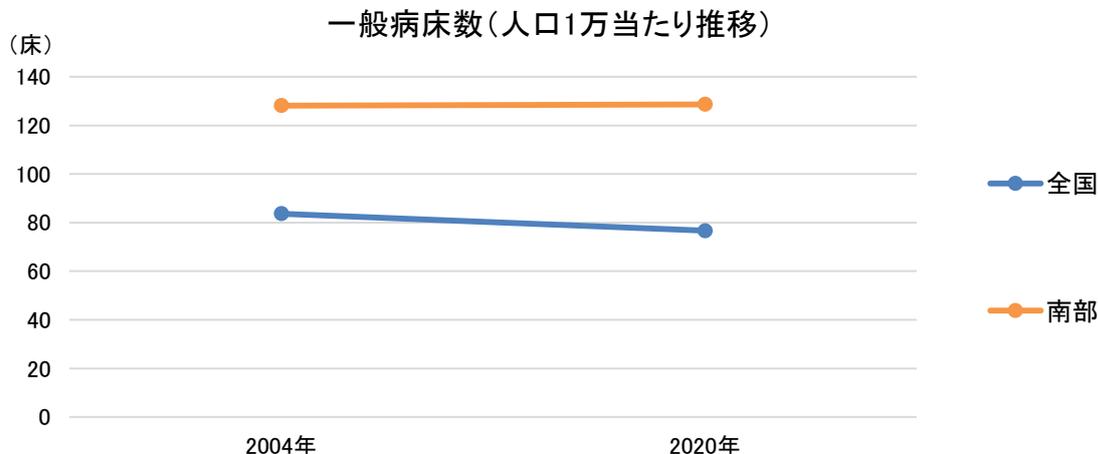
2004年の総病床数は1,518床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2020年に1,311床(人口1万人当たり196(全国平均126)偏差値63)と、207床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は150人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2020年に178人(人口10万人当たり266人(全国平均305人)偏差値46)と、28人の増加、率にして19%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



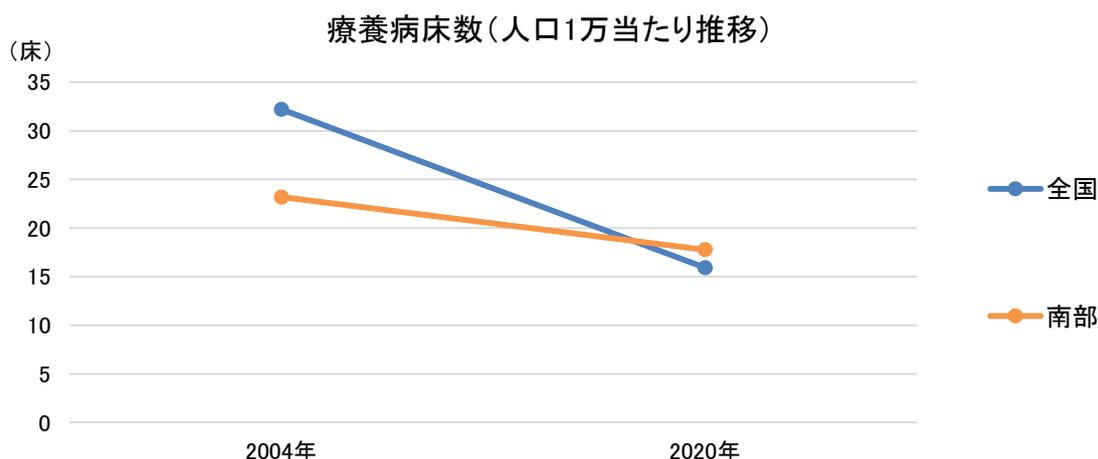
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,029床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2020年に860床(人口1万人当たり129(全国平均77)偏差値70)と、169床の減少、率にして16%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は261床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2020年に267床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均16)偏差値52)と、6床の増加、率にして2%の増加(全国平均21%の減少)が見られた。



44-4. ^{ほうひ}豊肥医療圏

構成市区町村 [竹田市](#)

[豊後大野市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(豊肥医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 豊肥(竹田市)は、総人口約54千人(2020年)、面積1,081km²、人口密度は50人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 豊肥の総人口は2030年に45千人へと減少し(2020年比-17%)、2045年に33千人へと減少する(2030年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の14千人が、2030年にかけて15千人へと増加し(2020年比+7%)、2045年には11千人へと減少する(2030年比-27%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 豊肥の一人当たり医療費(国保)は468千円(偏差値71)、介護給付費は329千円(偏差値70)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数43、診療所医師数52)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。豊肥には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 豊肥の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,290人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,036床(偏差値62)、高齢者住宅等が254床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,165人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設73、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設49、介護医療院53、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム53、サ高住31である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、155人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(豊肥医療圏) 2. 推移

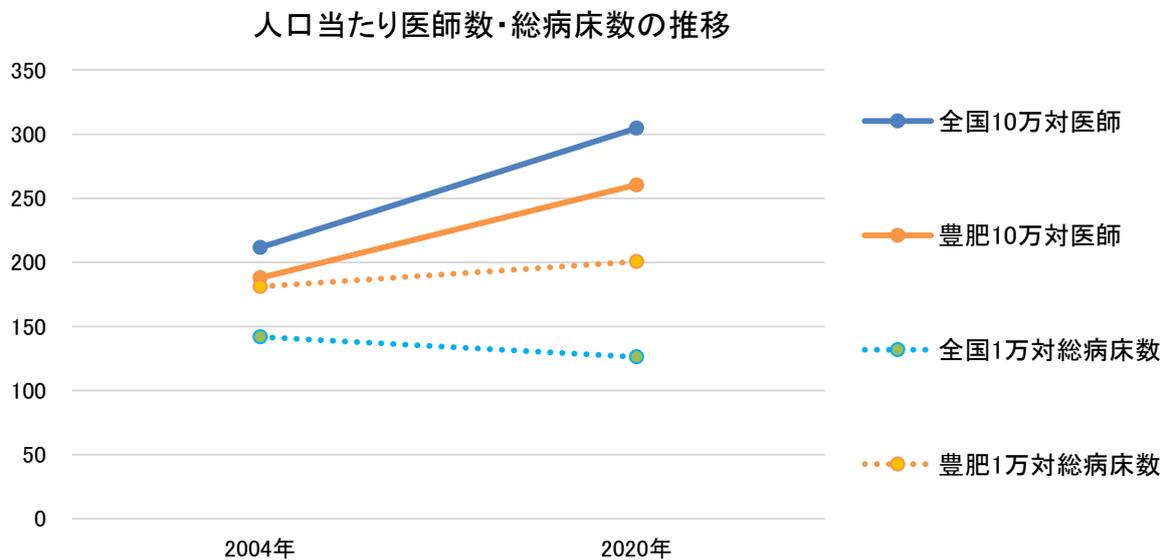
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は9(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2020年に6(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.5)偏差値61)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は58(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に54(人口10万人当たり100診療所(全国平均81)偏差値60)と、4診療所が減少した。

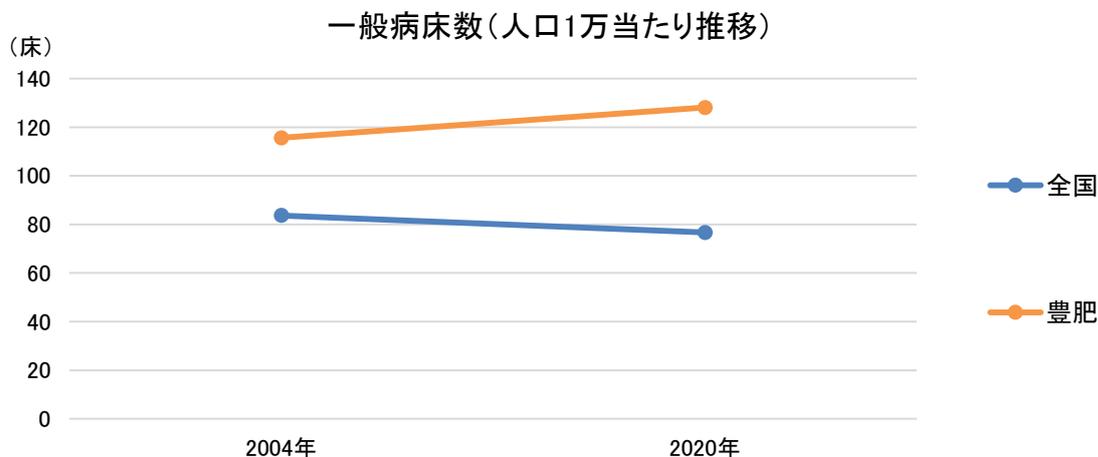
2004年の総病床数は1,233床(人口1万人当たり181(全国平均142)偏差値57)であったが、2020年に1,084床(人口1万人当たり201(全国平均126)偏差値64)と、149床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は128人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2020年に141人(人口10万人当たり260人(全国平均305人)偏差値46)と、13人の増加、率にして10%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



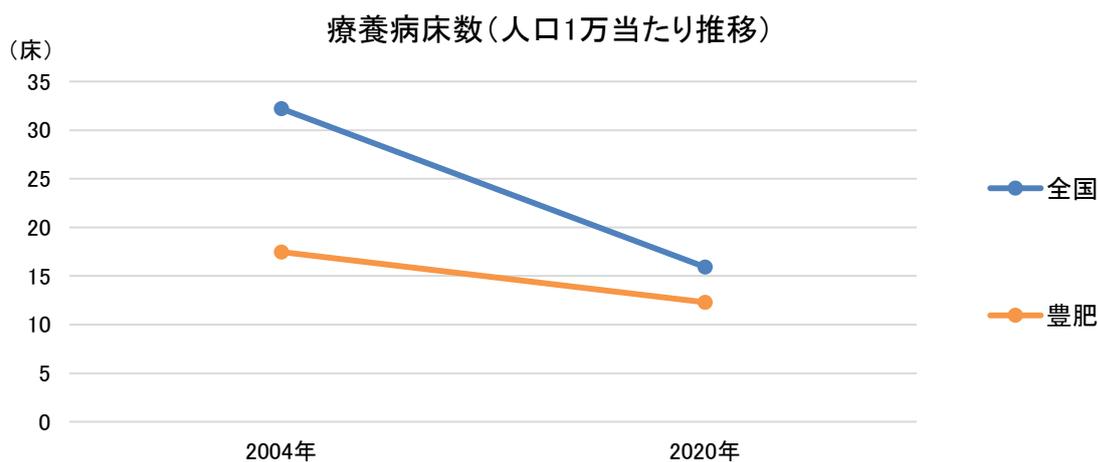
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は787床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2020年に692床(人口1万人当たり128(全国平均77)偏差値69)と、95床の減少、率にして12%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は230床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2020年に176床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均16)偏差値46)と、54床の減少、率にして23%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



44-5. ^{せいぶ}西部医療圏

構成市区町村

[日田市](#)

[九重町](#)

[玖珠町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(日田市)は、総人口約86千人(2020年)、面積1,224km²、人口密度は70人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2030年に72千人へと減少し(2020年比-16%)、2045年に53千人へと減少する(2030年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の17千人が、2030年にかけて19千人へと増加し(2020年比+12%)、2045年には16千人へと減少する(2030年比-26%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は447千円(偏差値66)、介護給付費は271千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状：療養士総数は偏差値77と非常に多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は68で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,393人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が996床(偏差値52)、高齢者住宅等が397床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,409人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム45、サ高住37である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値77と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、223人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(西部医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

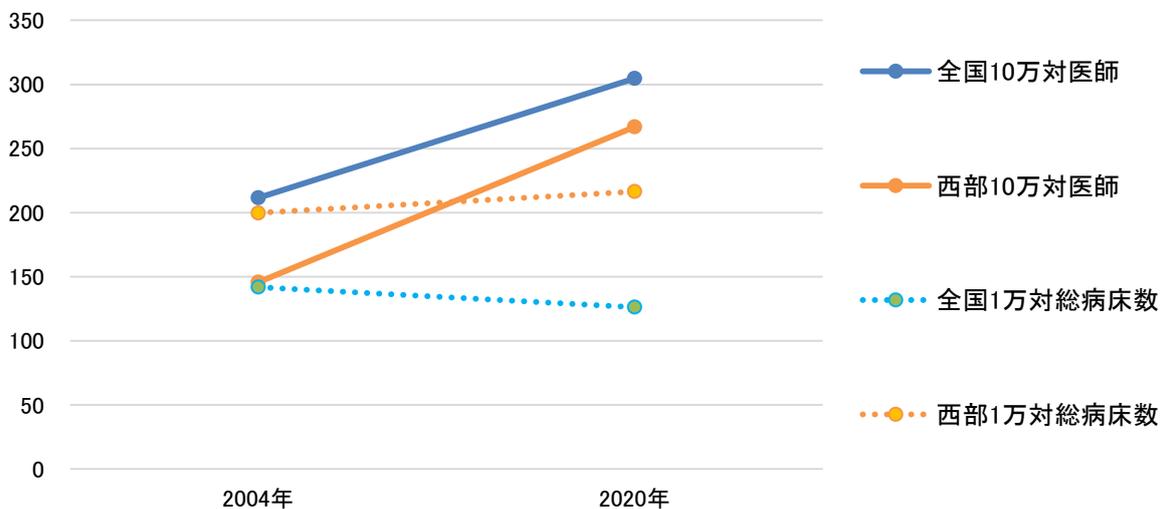
2004年の病院数は21(人口10万人当たり20.3病院(全国平均7.1)偏差値84)であったが、2020年に20(人口10万人当たり23.4病院(全国平均6.5)偏差値90)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は79(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2020年に71(人口10万人当たり83診療所(全国平均81)偏差値51)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数は2,069床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2020年に1,853床(人口1万人当たり217(全国平均126)偏差値67)と、216床の減少、率にして10%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

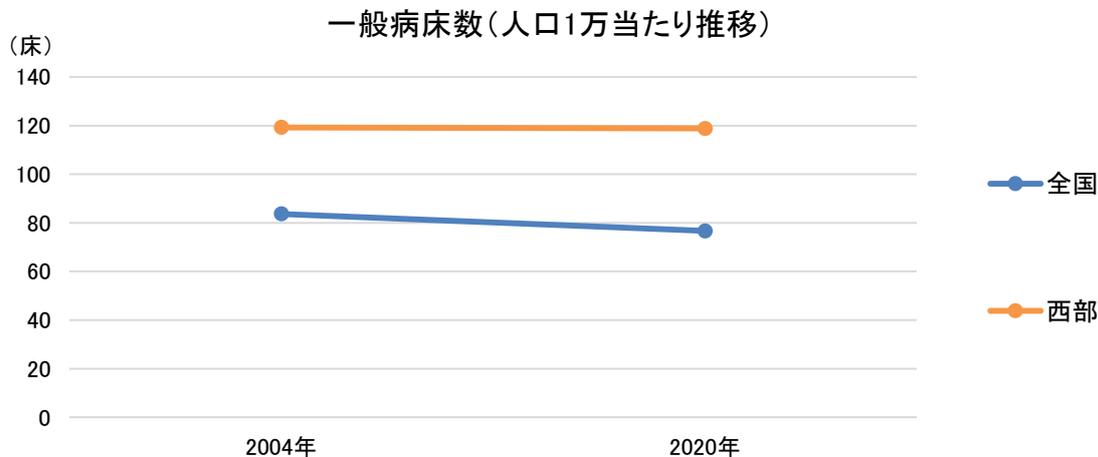
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は151人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2020年に228人(人口10万人当たり267人(全国平均305人)偏差値46)と、77人の増加、率にして51%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



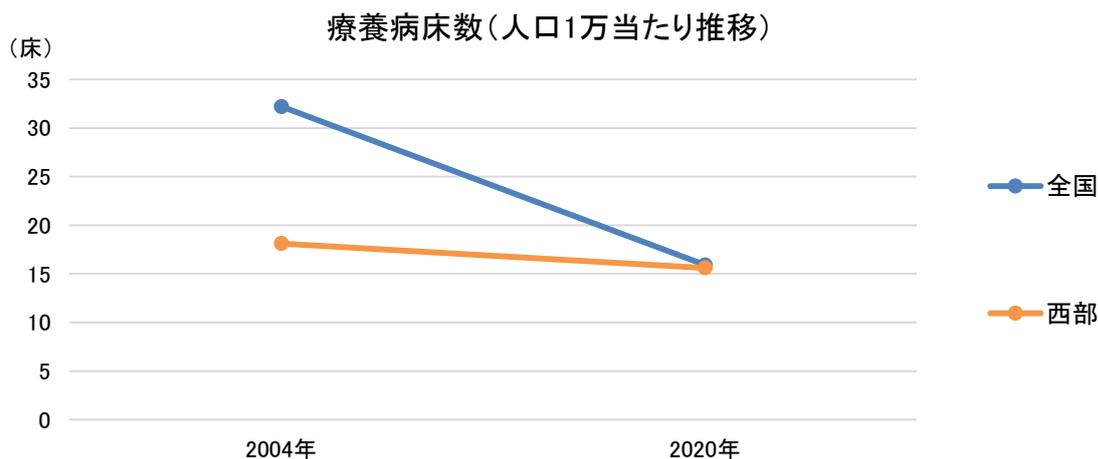
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,235床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2020年に1,017床(人口1万人当たり119(全国平均77)偏差値66)と、218床の減少、率にして18%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は263床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2020年に265床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値50)と、2床の増加、率にして1%の増加(全国平均21%の減少)が見られた。



44-6. ^{ほくぶ}北部医療圏

構成市区町村

[中津市](#)

[豊後高田市](#)

[宇佐市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(中津市)は、総人口約158千人(2020年)、面積1,137km²、人口密度は139人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2030年に145千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に126千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の28千人が、2030年にかけて32千人へと増加し(2020年比+14%)、2045年には28千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は452千円(偏差値67)、介護給付費は271千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の中津市立中津市民病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,629人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,696床(偏差値53)、高齢者住宅等が933床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,136人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設56、介護医療院50、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム50、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、375人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(北部医療圏) 2. 推移

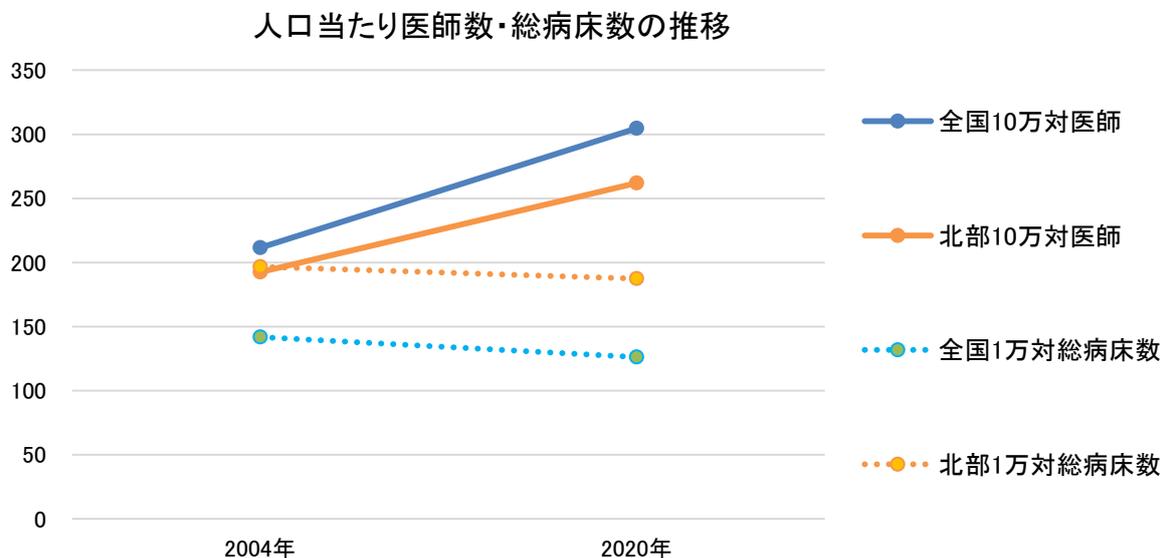
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は24(人口10万人当たり14.1病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2020年に23(人口10万人当たり14.6病院(全国平均6.5)偏差値69)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は142(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2020年に128(人口10万人当たり81診療所(全国平均81)偏差値50)と、14診療所が減少した。

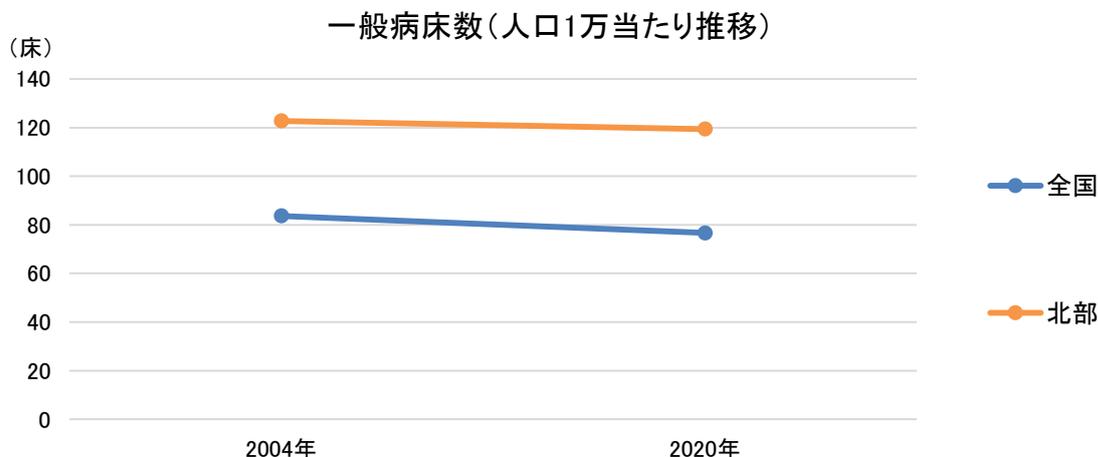
2004年の総病床数は3,350床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2020年に2,957床(人口1万人当たり187(全国平均126)偏差値61)と、393床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は328人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2020年に413人(人口10万人当たり262人(全国平均305人)偏差値46)と、85人の増加、率にして26%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,090床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2020年に1,884床(人口1万人当たり119(全国平均77)偏差値66)と、206床の減少、率にして10%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は681床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に485床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均16)偏差値51)と、196床の減少、率にして29%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

